

## 日本の教育の特色について考える

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

「開倫塾の時間」は、教育についてお話をさせていただいている番組です。そこで今日は、日本の教育はどのような特色を持っているのかについてお話をさせていただきます。

2. 実はこのお話は、先週の金曜日に東京都足立区中学校副校長会に講師として呼ばれ、2時間半の講演をしたときの内容です。副校長先生というのは、栃木県でいうと教頭先生のことです。

日本の教育には色々な特色があり、その一つがカリキュラムの特色です。ご存知の方は少ないかもしれませんが、日本の教育はわりと万遍なく学べるカリキュラムになっています。

3. 例えば中学校ですと、国語・社会・数学・理科・英語の5教科があります。これらは他の国も学んでいる教科です。しかし日本で特色的なのは、音楽・美術・保健体育・技術家庭という教科のカリキュラムがしっかりしていることです。

ベトナムでは、プールや他の体育の設備が整っていないため、体育の授業がないと聞いています。また、インドネシアは経済が大変な状況であるため、多くの学校で音楽の授業がないそうです。以前私は、ヤマハ音楽教室のジャカルタの教室を訪問したことがあります。そこには2000名以上の生徒さんが学んでいました。私が、なぜそんなにたくさんの生徒さんが来ているのかと聞きますと、学校で音楽の授業がないため、ここで音楽に親しんでいるということでした。そこで改めて、日本には音楽の授業があることに気付きました。

4. そして、隠れたカリキュラムといいますか、日本の教育には部活動や学級活動、生徒会活動などの教科教育以外の教育活動が非常に盛んです。入学式や卒業式はどこの国も行うようですが、学期ごとの始業式や終業式、朝礼、朝の会、ホームルームなどのミーティングを行うことも、日本の教育の場ではとても多いです。これらの活動のおかげか、日本の学校では不登校の子供が非常に少ないこと・先生方が子供たちのことを理解しているということがあります。これも、日本の教育の特色の一つです。

また、他の国では、お金のある方がクラブに入って運動や芸術活動をすることがふつうです。しかし、日本では、小学校・中学校・高校の先生方が無料でお世話をしたり、指導をしたり、監督をしたりします。このように、部活動が非常に盛んなことも日本の教育の特色の一つです。

5. さらに、体育祭や文化祭、体験授業、音楽鑑賞、芸術鑑賞などのイベントも行われたり、修学旅行や宿泊学習など宿泊を伴うエクスカージョン(excursion)もあります。他の国では近くを訪れることはありますが、日本のようにカリキュラムをしっかりして行うことは少ないようです。ですから、これも日本の教育の特色の一つです。このようなことから、日本人にはチームワークや社会性、しつけ、規範意識が身に着いているのではないかと思います。

6. また、不十分かもしれませんが、日本では、不登校やいじめに対しても、先生方がていねいで親切に対応して下さいます。他の国では、来ない子はそれでおしまいというのが多いです。学校に来る・来ないは自由ですので、来ない子はそのままになってしまい、残念な結果で終わってしまう子どもも多いようです。しかし、日本はきちんとした対応があるので、大半の方が学校を卒業します。これも素晴らしいことだと思います。これらはヒドウン・カリキュラム、隠れたカリキュラムとして海外で高く評価されています。

7. ただ、少し言いにくいことではありますが、日本のカリキュラムで少し足りない点は語学です。私立の学校は違いますが、日本の公立の学校の大半は英語しか教えていません。他の国では、英語、中国語、イタリア語、スペイン語、フランス語、ロシア語などを教えています。グローバル化が叫ばれるこれからの世の中では、英語だけでは足りないかもしれません。ですから、できれば国連などの国際機関の共通語である中国語、イタリア語、スペイン語、フランス語、ロシア語などを教える。また、ハンガール語やタガログ語、インドネシア語など近隣諸国の言語を学ぶチャンスをお子たちに与える。このようにすると、グローバル化に対応できるのではないかと思います。その進め方については、教える先生があまりいらっしゃらないので、一人の先生が複数の学校で教えたり、近くに住んでいるその言語を話せる方にボランティアとして協力していただいたり、様々な工夫をしていただくことが求められます。

以上のことを、先週の金曜日に東京都足立区中学校副校長会で先生方にお話をさせていただきました。

8. 最後に、古典についてお話させていただきます。「古(いにしえ)の人は民と偕(とも)に楽しむ、故(ゆえ)に能(よ)く楽しむなり」これは、ぜひ皆さんにも知っていただきたい孟子の言葉です。

私は、NHKの「花燃ゆ」が好きでいつも拝見しています。なぜ吉田松陰とその仲間たちは志を高く持ち、明治維新を担ったのか。おそらく彼らは、孔子の論語も勉強したと思いますが、孟子の教えもかなり熱心に勉強したと思われる。その孟子の教えの一つが先程の言葉で、いにしえの賢人、つまり昔の賢い人は人々と一緒に楽しんだものである。自分に楽しいことがあったら、皆と一緒に楽しむことが大事である。これは大変素晴らしい教えだと思います。「ともに」という字は、水戸にある偕楽園の「偕」という字です。皆と一緒に楽しむことができると、素晴らしい国や政府を作ることができるということです。

今日は2学期の最初ですので、カリキュラムのお話と、孟子の教えの一部をご紹介させていただきました。